

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			静養室、相談室、活発に動けるスペース、静かに過ごすスペースなど分けて使っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			その日の利用人数に応じて職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差がないように配慮されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月一回の会議や必要に応じて話し合いを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	今回より実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	今回より実施。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	早期に第三者委員会を設置する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修がある場合には、周知して、積極的に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に行っている。 普段から、保護者との会話、連絡のコメントも大事にしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを標準化して使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議などで話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事やイベントの活動を取り入れている。スタッフで話し合い決めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			1日のスケジュールを決めたり、日課を作る事でメリハリを持たせている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の状況に応じて計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前には、毎日ミーティングし、児童の様子などを話し合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ケア後ミーティングを実施。記録に残し、情報や様子を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケア後ミーティングで気づいた事を出し合い、個人の記録にまとめ、残している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に見直しし、必要に応じて変更している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○	ガイドラインは職員全員に渡している。読み合わせし、支援に役立てていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校から行事予定表、下校時間の手紙をもらい確認している。下校時にその日の様子聞いて情報共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は無い。今後受け入れることがあれば、連絡体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	相談支援事業所を介して、情報をもらい共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		卒業した児童がいないため、今後必要に応じて提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	療育手帳更新時などの検査結果表を保護者から頂き、状況把握に努めている。研修があれば参加する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		土曜日などに近隣の保育園の行事参加させてもらっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に、日々の様子、気になる事を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレント・トレーニングの講習がある時には、周知していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用前の面談で説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		会話の中から出る悩みを聞き逃さないようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	懇談会を企画するが、参加者が少ない。定期的に行っていく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合には、所長、職員に報告、迅速に対応している。 目安箱の設置。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月一回のおたよりを発行して、様子を伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いの書面に署名し日々徹底するように努めている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて、目でも分かるように紙に書いたりしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			懇親会を主催し参加してもらっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		保護者にも手に取れる、見れる場所に設置する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	2018年度実施する予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修に参加し、報告している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			支援計画に一文記載しており、計画作成時に保護者に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在対象者はいない。対象の児童が利用する時には、指示書に基づく対応をする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリと思った事例が出たときには、記入し職員全員で共有し大きな事故につながらないように努めている。